

報告事項 1 平成 29 年度事業報告に関する件

平成 29 年度 一般社団法人全日本愛鱈会事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

※ 全 般

平成 29 年度は事業計画に基づき各担当部の主導によって実施されたほか、中島正章新会長の体制の下、出版部活動の復活、活動推進員委員会および九州地区再生委員会の二つの特別委員会を新たに発足させ、組織の活性化を促す取り組みが始動した。

第 53 回国際錦鯉品評会は、近畿地区会員の尽力により神戸市北区の会場に於いて開催され、国内外の出品者および取扱者からの協力を得て多大な成果を収めた。

1. 組織の運営に関する事項

- (1) 定時総会・理事会・定期部会・公認審査委員会等諸会議は、計画どおり開催された。
- (2) 会員数の状況は、国内会員 785 名・国外会員 920 名、総数 1,705 名（前年度比△45 名）であった。会員構成比は、国内 46%・国外 54%となった。

国内においては、通常会員 53 名の新再入会者を得たものの、総合的には前年度より 31 名の減となった。支部・分会で楽しめる地域活動を奨励し、継続的な課題として若い愛鯉家を育てることが急務である。

国外においては、ここ数年は 1,000 名弱の会員数で推移しているが、潜在的な愛鯉家は増えていると考えられる。今後は新しいメディア媒体を利用して魅力ある活動を国内外ともにアピールすることが望まれる。

- (3) 出版部の活動再開に加え、活動推進委員会および九州地区再生委員会の二つの特別委員会が発足した。

2. 品評会に関する事業

- (1) 第 53 回国際錦鯉品評会

期日：平成 29 年 11 月 17 日（金）～19 日（日）

場所：兵庫県神戸市「道の駅神戸 フルーツフラワーパーク大沢」

担当：近畿地区

協賛：全日本錦鯉振興会

後援：文化庁・兵庫県・神戸市・神戸新聞社・NHK 神戸放送局・サンテレビジョン

本品評会の成果 出品者数 326 名（国内 222 名・国外 104 名）

出品尾数 1,470 尾（国内 1,267 尾・国外 203 尾）

3. 調査・研究に関する事業

- (1) 飼育魚病研究会の開催

期日：平成 30 年 2 月 4 日

場所：「東京流通センター」

出席者：72名

内 容	講 師
「錦鯉にみられる潜水病・緋食病の最新情報」 「錦鯉の粘液の役割と粘液増強飼料について」	水産大学校 安本信哉 日本動物薬品(株) 柴田俊幸

※研究会の内容は、会誌「日鱗 No.604」に掲載。

4. 普及並びに指導に関する事業

(1) 本部主催審査研修会等の開催

期 日	場 所	内 容	参加者
6月18日	姫路市 県立姫路労働会館	・25部大正三色5尾による評価 (ビニール袋審査) *有田農産(有)協力	47名
9月9日	広島市 広島オフィスセンター	・45部ジパング種等5尾による 評価(ビニール袋審査) *小西養鯉場(株)協力	鑑賞審査部員他 14名
2月3日 ～4日	東京 東京流通センター	・55部昭和三色5尾による評価 (水槽審査) *伊佐養鯉場(株)協力	97名
各地区委託審査研修会		・各地区等により研修鯉設定	本部統一様式報告

(2) 公認審査員補考試を平成30年2月3日に東京流通センターにて実施した。

受験者 国内1名、国外8名

5. 社会奉仕に関する事業

(1) 地域施設への錦鯉寄贈、各地の公共施設池・河川等の清掃奉仕、また小学校・中学校への錦鯉を通しての日本文化の啓蒙活動が各支部有志により行われた。その中でも、伊勢神宮鯉池の清掃活動と千葉県神埼町立米沢小学校ニシキゴイ・プロジェクトについて活動推進委員会の表彰対象とした。

6. 国際交流に関する事業

(1) 海外支部等の要請に応じて、次のとおり審査員・指導講師等の派遣を行った。

期 日	派遣先品評会名等	派遣審査員等(敬称略)
4/1～2	第10回北加支部	山田 幹洋
4/2	第36回AKAバンクスタウン支部	会長賞のみ交付
4/22～23	第24回KLANドイツ支部 インターコイ2017	元田 富男・山本 毅
5/21	第40回KSAオーストラリア支部	中島正章・田中昭次
5/21	第17回香港支部若鯉	会長賞のみ交付
5/26～28	第36回ブラジル支部	会長賞のみ交付

5/27～28	第10回アジアカップ・コイショー (中国・済南市)	馬上宗顕・山崎美左治 山田幹洋・藤井清吾
5/28	第28回西オーストラリア支部	会長賞のみ交付
6/24～25	ベルギー支部2017	会長賞のみ交付
7/28～30	第37回ノースウエスト支部	会長賞のみ交付
7/29～30	第25回南アフリカ支部	小西 弦・藤井清吾
7/29～30	第6回トライステート支部2017	斎藤昌治
8/18～20	第25回オランダ支部	林 豊廣・玉木成美
8/19～20	第13回マレーシア支部	馬上宗顕
8/26～27	第2回ジャカルタ支部若鯉	上田正裕・田中昭次
9/8～10	第24回ポトマック支部	会長賞のみ交付
9/16～17	第16回ノーザンミッドウエスト支部	会長賞のみ交付
10/22～23	台湾錦鯉文化節2017 (フォルモサ支部)	角南修一・玉木成美
12/2～3	台湾国際錦鯉品評会2017 (台湾地区)	中島正章・山崎美左治 田中昭次
12/9～10	第5回イーストタイ支部若鯉	会長賞のみ交付
1/12～13	第32回香港支部	林 豊廣・小西 弦 吉田文明・高橋健彦
1/13～14	第6回タイ TKKG 支部	元田富男
3/16～18	第44回南加支部	山田幹洋・野地英司

※品評会の開催 23 回
 ※審査研修会の開催 4 回
 ※会長賞のみ交付 9 品評会
 ※審査員講師等派遣数 のべ29 名(14 品評会)

7. 出版に関する事業

(1) 「日鱗」(和文・英文)を毎月発行した。

※処務の概要

1. 役員に関する事項

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	就任年月日	担 任 職 務
理 事 (会 長)	中 島 正 章	平 25.6.9	代表理事 公認審査員会会長
理 事 (副 会 長)	北 川 學	同上	業務執行理事・会長補佐 公認審査員会副会長 活動推進委員会委員長
理 事 (専務理事)	山 崎 美左治	同上	業務執行理事・会長補佐 本部事務局の掌理
理 事 (常務理事)	元 田 富 男	同上	業務執行理事・会長補佐 国際部担当・東海地区長
理 事 (常務理事)	平 賀 富 弥	平 26.6.15	業務執行理事・会長補佐 品評会事業部担当・鑑賞審査部副部長
理 事 (常務理事)	山 田 幹 洋	平 27.6.14	業務執行理事・会長補佐 国際部長・中国地区長
理 事	鷹 野 義 男	平 25.6.9	飼育魚病研究部担当・北陸地区長
理 事	沢 村 昌 彦	平 27.6.14	鑑賞審査部長・品評会事業部副部長
理 事	上 田 正 裕	同上	総務担当・鑑賞審査部副部長 近畿地区長
理 事	田 中 昭 次	平 28.6.5	国際部副部長
理 事	野 地 英 司	平 29.6.17	総務部副部長・東北地区長
理 事	平 田 潤 一	同上再任	飼育魚病研究部長・鑑賞審査部副部長 関東地区長
理 事	小 西 弦	同上	総務部長
理 事	林 豊 廣	同上再任	広報出版部長・鑑賞審査部副部長 九州地区再生委員会委員長
理 事	植 木 幹 彦	同上	飼育魚病研究部副部長 九州地区長・九州地区再生委員会委員
監 事	三 上 彌 六	平 25.6.9	定款第 24 条の職務
監 事	白 坂 大四郎	同上	同上

※ 野瀬康二副会長、平成 30 年 1 月 24 日ご逝去

3. 会員に関する事項

平成30年3月31日現在

会 員 別	国 内	国 外	計	前年度との比較
本 部 会 員	160	0	160	-6
通 常 会 員	586	920	1,506	-36
賛 助 会 員	39	0	39	-3
計	785	920	1,705	-45

物 故 者

(敬 称 略)

本部顧問・衆議院議員	長 島 忠 美
新潟県支部会員	湧 井 智 一 郎
新潟県支部会員	菊 池 利 男
兵庫県支部会員	三 谷 幸 一 郎
山口県支部会員	豊 田 清 人
山口県支部会員	平 仙 昇
高知県支部会員	野 瀬 康 二
福岡県支部会員	池 田 早 正
ポトマック支部会員	ドリス・ポピー
台湾楊梅支部会員	彭 錫 欽

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

4. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

期日・場所	議案事項	会議の結果
<p>5/13～14 (第22回) 於：名古屋</p>	<p>1. 第5回定時総会日程・会場について</p> <p>2. 第5回定時総会提出議案について (1)平成28年度事業報告(案) (2)平成28年度計算書類(案) 貸借対照表及び正味財産増減計画書 公益目的支出計画実施報告書 (3)平成29年度事業計画・予算書 (4)オレンジブック改訂について (5)役員候補に関する事項</p>	<p>○前回理事会において承認済みである第5回定時総会の日程について確認が行われた。馬上会長より6月17日の午前中は出席できないことが報告され、事務局長が是非であれば代替の会場または日程を善処する旨の発言を行ったが、総会開催まで1ヶ月を切っており、変更が困難である場合は予定通りとすることが承認された。(＊理事会翌日に角南専務を通じて変更とはせず予定通りの開催とすることが確認された。)</p> <p>第5回定時総会： 平成29年6月17日14:20～15:40 姫路労働会館</p> <p>第23回理事会(新役員)： 平成29年6月17日16:00～16:30 姫路労働会館</p> <p>第24回理事会(新役員)： 平成29年6月18日13:30～14:50 姫路キャッスルグランリヴィオホテル</p> <p>○原案のとおり総会報告が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○原案のとおり総会報告が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○平成29年2月5日開催の役員候補選考委員会により選出された次期役員候補者について説明が行われた。近畿地区長上田理事より、沢村昌彦候補について前回は選考委員会後に次期会長推薦の形で選出されたが、沢村氏が鑑賞審査部として必要不可欠な人材であることから、今回は近畿地区協議会から選考委員会に候補としてお願いした旨の説明がなされた。馬上会長は、理事枠については各地区よりの推薦数の申し合わせが9月理事会において行われており、近畿地区から1名多い推薦があったことに異論を呈したが、自身が会長に再任された場合には沢村氏を理事に推薦する意向であると述べた。会長推薦の理事候補については規定がなく、また会長就任後の推薦となれば追加理事の承認は1年後の総会となることから、沢村氏の理事候補については理事会としての意見は表明せず、会長自身が意見書を出すについては個人の</p>

	<p>3. 本部会員の異動について</p> <p>4. 委員会その他報告事項</p> <p>(1)公認審査員審議会の結果報告</p> <p>(2)表彰審査委員会の結果報告</p> <p>(3)第 53 回国際錦鯉品評会について</p> <p>(4)事務局関連の報告</p> <p>5. その他</p> <p>(1)第 54 回国際錦鯉品評会について</p> <p>(2)部編制について</p> <p>(3)職員規定の改正について</p>	<p>判断に委ねるものとした。事務局長より、役員候補選考委員会の独立性について説明があり、選考に関しては現役員・理事会・事務局等の介入は認められておらず、また各委員には選考過程の守秘義務を有することが述べられた。ただし、役員候補選考の手順等に加え、役員候補が反社会的な事象に関与していないか、定款に反することがないかの判断材料としての資料を選考委員会に提示していることが説明された。</p> <p>○本部会員について下記の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 6 名： <ul style="list-style-type: none"> 小出 邦宜（長野）・中谷 隆昭（大阪）・篠原 啓治（徳島）・木村 薫（山口）・恵古 宏治（広島）・森尻 孝雄（栃木） ・通常会員への異動 2 名 ・退会 5 名 <p>○公認審査員審議会の結果が報告された。 *公認審査員審議会の会議結果を参照。</p> <p>○第 5 回定時総会時の表彰行事の被表彰者が報告された。</p> <p>○近畿地区長上田理事より、第 53 回国際錦鯉品評会開催の進捗状況が報告された。事務局長より、文化庁他への後援申請のために、大会要項は 6 月中にも大綱を纏める必要があることが説明された。</p> <p>○別府市の条例にもとづく事務局建物外部看板の撤去と新ディスプレイ設置、平成 28 年熊本地震による建物被害調査、消火器の交換と必要備品について事務局長より説明がなされ、必要な対処が了承された。</p> <p>○平成 30 年度開催予定の第 54 回国際錦鯉品評会について、北陸地区に担当をお願いしたい旨要請が行われた。馬上会長名にて北陸地区協議会へ再協議の要請書を送ることとした。</p> <p>○馬上会長より、日鱗誌の発刊を将来も安定的に継続し、より良い内容にするために担当理事を置くことが提案された。事務局長より、現在、出版部は担当理事および部員が不在である状況が説明された。次期執行部による部編制の際に出版部の人事を検討することとした。</p> <p>○馬上会長より、1 年前より着手していた職員規定の改訂作業がほぼ終了し、前回理事会で資料提示された改訂案に基づき、6 月総会後に正式な手順を経て施行とすることが説明報告され承認された。</p>
--	--	---

<p>6/17 (第23回) 於：姫路市</p>	<p>1. 代表理事および業務執行理事の選定について</p>	<p>○第5回定時総会において承認された18名の理事の中から中島正章理事が代表理事に選定され、新会長に就任した。続いて中島新会長が議長となり業務執行理事の選定が行われた。</p> <p>会長：中島正章 副会長：北川 學、野瀬 康二 専務理事：山崎 美左治 常務理事：元田 富男、平賀 富弥、山田 幹洋</p>
<p>6/18 (第24回) 於：姫路市</p>	<p>1. 次回理事会の開催日程について</p> <p>2. 第53回国際錦鯉品評会の大会要項その他について</p> <p>3. 各部会その他の報告事項 (1)総務部会の結果報告</p>	<p>○鑑賞審査部研修会の日程に合わせ9月9～10日に広島市で開催することが承認された。</p> <p>○第53回国際錦鯉品評会の大会骨子・要項について、品評会事業部会の報告と併せて説明が行われた。出品料の一部値下げを行い、出品目標数を1,500尾とした。大会ポスター・リーフレットにスポンサー広告を募集し、全日本錦鯉振興会の協力による夢展の開催がない場合は自由出展の錦鯉展示の計画があることが報告された。また、多数出品魚取扱者賞・最多出品賞・最多得点賞の表彰は土曜日の懇親会で行うことが発表された。</p> <p>第53回国際錦鯉品評会 開催場所： 道の駅神戸フルーツフラワーパーク大沢 開催日程： 11月17日(金) 搬入 11月18日(土) 審査・開会式・懇親会 11月19日(日) 表彰式・閉会式・搬出 出品資格および出品魚区分：変更なし 出品料： 15～25部(幼魚) ¥5,000/尾 30～40部(若魚) ¥6,000/尾 45～55部(成魚) ¥7,000/尾 60～75部(壮魚) ¥10,000/尾 80～85部(巨鯉) ¥12,000/尾 85超部(巨鯉) ¥15,000/尾 *ジパング賞対象品種は¥1,000 または¥2,000引き *プール代の変更なし *ビニール袋は有料とし事前注文により送付するものとする。</p> <p>○第5回定時総会でのオレンジブック改訂の承認に伴い、オレンジブック改訂版のバインダー方式案が出されたが、予算等から当面は今回の総会資料の冊子で対処することとした。改訂規則はウェブサイトに掲載し、会員がいつでも閲覧・印刷できるように利便性を図ることとした。</p>

	<p>(2)特別委員会の設置について</p> <p>(3)日鱗誌について</p> <p>(4)全日本愛鱗会 HP について</p>	<p>ことはせず、平成 29 年の新役員から会長 30 万その他の役員 1 万を毎年総会後にお問い合わせすることとし、了承された。</p> <p>○新体制となり、九州地区再生委員会が発足し、林理事、九州地区長植木理事、元九州地区長皆川会員に委員をお願いすることとした。</p> <p>○同じく活動推進委員会が発足し、北川副会長に委員長をお願いすることとなった。</p> <p>○植木理事より日鱗誌のありかたについて質問があり、十分な校正が行われておらず会誌として不適切な内容が含まれているとの指摘があった。また、会費の中に日鱗の購読料が含まれていることに疑問が呈された。事務局より、定款では会費と雑誌購読料は別建てでは考えられていないことが説明された。中島会長は、日鱗の発行を含む会の運営基盤には会費へ理解を戴かなければ成り立たない旨の意見が述べた。山崎専務より、以前に平井相談役が専務理事時代に、会員減少に伴って日鱗の編集業務を㈱エポックアートへ移行するなどの大改革を断行し、会の運営負担を大幅に減少させた経緯もあることを述べた。出版部の角南理事、林理事より今後は日鱗の内容充実を図る方針が述べられた。</p> <p>○植木理事より、全日本愛鱗会 HP の更新がされていないとの指摘がなされた。事務局より、HP の作成経緯について、当初も現在も予算・人員の割り当てがないまま実施していること、また更新については、独自で HP を作成することが難しい支部に対して、支部からの更新依頼を受けて行うことが支部長会を通じて周知して戴いていたことが説明された。</p>
<p>9/ 10 (第 25 回) 於：広島市</p>	<p>1. 次期以降の回理事会の開催について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第 53 回国際錦鯉品評会について</p>	<p>○第 26 回理事会開催について承認された。国際展搬入日の理事会については最小限の議題にとどめることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 17 日 (ホテルフルーツフラワー) <p>○第 27 回理事会開催について承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 月 3～4 日 (東京流通センター) <p>○本部会員について下記のとおり承認された。本部会員の退会については地区支部で確認し、必ず退会届を提出することが確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 1 名 児玉 太郎彦 (栃木・再) ・退会 2 名 <p>○審査員の選考について、提示された資料と各理事の推薦にもとづき鑑賞審査部にて選考中であり、班編成案を含めた原案を同日中に作成予定であることが報告された。</p>

	<p>4. 第54回国際錦鯉品評会の担当地区について</p> <p>5. 海外支部品評会と派遣審査員への旅費補助について</p> <p>6. その他</p>	<p>○事務局長より、大会収支予算書の説明が行われ、予算外経費については理事会の承認を経て決済することが確認された。</p> <p>○以下について説明が行われ、了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会ポスター等のスポンサーと新規のテナント出店業者について。 ・大会ポスターを日鱗付録として全会員へ配布する。 ・締切り後の出品変更については、出品料・プール・区分の変更が伴わない場合に限り変更可とする。 ・参加料については従来通りとし、賛助会員については次回の検討事項とする。 ・有料による錦鯉展示を募集する。これについては、振興会の了解済みであり、また出展者は振興会会員に限らないことが中島会長より説明された。 <p>○鷹野理事より、第54回国際展の担当について北陸地区協議会において合意が得られ、すでに名越振興会北陸地区長へも協力要請を行ったことが報告された。</p> <p>○海外支部品評会の日程と、今年度の派遣審査員への旅費補助が提示され承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域 1万円 ・欧米地域 3万円 ・その他遠隔地 5万円 <p>山田常務理事より、海外支部品評会審査に積極的に参加していただくよう要請がなされた。また、海外から個人的に審査の要請を受けた場合でも必ず事務局を通して調整すること、その他の海外品評会参加にあっても本部への報告・了承を要することが再確認された。</p> <p>○山崎専務より、海外プロジェクトチームの提案が行われた。これは、現存する支部の活動支援、新興国の会員獲得、全日鱗の趣旨や審査員制度への理解、動画等による広報活動を含むことが説明された。海外だけではなく国内に対しても同様の支援が必要であるとの意見が出され、国内外へのプロジェクトとして、具板的な活動を検討することが了承された。プロジェクトの実施方法としては、youtube や facebook 等のメディアを利用すべきとの意見が出された、中島会長は、このプロジェクトの具体的な活動にあたっては、リーダーを決めプランを立てて進めるべきであるとの意見を述べた。</p>
--	--	---

<p>11/ 17 (第 26 回) 於：神戸市</p>	<p>1. 第 53 回国際錦鯉品評会の審査員編 制について</p> <p>2. 報告事項</p>	<p>○審査班の最終編成表の提示が行われ承認された。岩屋毅衆議院議員が公務で欠席されることから、名誉審査員長賞は北川審査員長に選出をお願いすることとした。山田常務より、審査の担当部に業者により知らずに出品がなされた場合の対処についての質問がなされた。できるだけ事前にそのような事態は避けるべきであるが、中島会長より、もし役員立場であれば、今回の場合は入賞されてもその場で辞退していただきたいとの提言がなされた。</p> <p>○角南修一理事、玉木一浩理事の辞任が報告された。山崎専務より、玉木理事の辞任に伴い四国地区長が不在となっているため、当面は野瀬副会長が四国地区代理を務めていただくが、副会長自身も病気療養中のため会議等出席が困難であり、四国地区に後任者の推薦をお願いしていることが報告された。</p>
<p>2/ 3~4 (第 27 回) 於：東京</p>	<p>1. 平成 30 年度諸会議等開催日程につ いて</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第 53 回国際錦鯉品評会の結果およ び収支決算報告について</p>	<p>○諸会議開催日程について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の監査業務 4 月 20 日 (本部事務局) ・第 28 回理事会等 5 月 19~20 日 (東京都) ・第 6 回定時総会・理事会・研修会等 6 月 16~17 日 (富山県で調整) <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 1 名 本岡 秀昭 (兵庫) ・通常会員への異動 1 名 ・退会 2 名 <p>○植木理事より、パーティー券の売上収入によりパーティー費用が賄えていない事が質問された。パーティーの費用については当日の入賞協力金納付者にパーティー券を渡しており、券の売上金だけで開催費を賄うものではない事が説明された。山崎専務は、入賞者に協力金に理解を深めてもらい、できるだけ本人にパーティーに参加して戴くのも目的であると付け加えた。</p> <p>○上田理事より、地区還元金の取り扱いについて P 出品数も加算してはどうかとの意見が出され、これについて賛否を問うたところ、多数決により今回は P 出品数は地区への還元費に組み入れないことが決議された。</p> <p>○元田常務より、赤字決算の場合の地区還元金について質問が出された。これまでのところは明確な取り決めはないが、国際展収支が赤字決算となった場合には、地区への還元金の</p>

	<p>4. 平成 30 年度事業計画・収支予算について</p> <p>5. 海外の友好クラブの承認について</p> <p>6. 第 55 回国際展について</p> <p>7. 役員等について (1)本部顧問の就任について (2)相談役の退任について</p>	<p>拠出は難しいとの共通見解が確認された。</p> <p>○平田理事より、海外品評会審査員への助成金交付による公認審査員会の収支予算の将来の見通しについて質問がなされた。山崎専務より、2017 年 2 月より海外会員から徴収している研修会協力金をさらに周知すること、現時点では公認審査員会の資金は充分である事が説明された。山田常務より、公認審査員会の支出のうち海外品評会審査員への助成金は、今後も海外品評会へ協力してもらうためには不可欠であること、公認審査員の 3 年間の登録期間のうち一度も海外品評会へ参加されたことのない方も見受けられるので、もし資金不足となった状況では国内の審査員へも何らかの協力金の検討が必要との提言がなされた。中島会長は、この件の実施については公認審査員総会に諮る必要があり、審査員の理解を十分得た後に進めるべきとの見解を述べた。</p> <p>○事業計画に関して、山崎専務より、若年層の錦鯉への関心を向ける取り込みが必要な状況から、品評会や各行事に係わってもらうジュニア・サポーター制度（仮称）を模索したい旨の提案がなされた。加えて、プロジェクトチームにはインターネットスキルを有した会員の参加を促したいと述べた。</p> <p>○平成 30 年度事業計画・収支予算については上記の意見を反映し総会資料の内容に含めることが承認された。</p> <p>○中国蘇州に所在する華東錦鯉クラブからの友好クラブ申請について説明が行われ、これを承認した。</p> <p>○国際展の小千谷市での 2 年連続開催に対しては全日本錦鯉振興会新潟地区から賛同を得られていないことから、担当地区の順序には柔軟に対応して今後の国際展の計画を立てることが確認された。中国地区長山田常務が、四国地区・九州地区の状況を鑑みれば、中国地区での開催が求められている事は承知しており、関東地区での独自開催が困難であれば、中国地区協議会で検討するとの返答を行った。</p> <p>○山田常務より、山口県選出の江島潔参議院議員の経歴等について紹介が行われ、4 月より本部顧問ご就任をお願いすることが全員一致で了承された。</p> <p>○馬上相談役については 3 月末をもって退任</p>
--	--	---

	<p>(3)理事の補充について</p> <p>8. 委員会、部会その他報告事項</p> <p>(1)業務執行理事による職務執行状況の報告</p> <p>(2) 平成 29 年度予算執行状況の報告</p> <p>(3)九州地区再生委員会の報告および四国地区について</p> <p>(4)活動推進委員会および支部長会の報告</p> <p>(5)総務部会の結果報告</p> <p>(2)品評会事業部会の結果報告</p>	<p>戴く事が発表され了承された。</p> <p>○平田理事より、昨年来懸案となっていた関東地区からの理事の補充について、栃木県支部の森尻孝雄会員を理事候補として推薦したいので、次の理事会に提案したいとの報告がなされた。</p> <p>○各業務執行理事より、書面にて職務執行状況の報告が行われた。</p> <p>○事務局長より、平成 29 年度予算執行状況の報告が行われ、国際展の収益により当期収支決算は 160 万円以上の黒字となる見込みであることが報告された。</p> <p>○植木理事より、九州地区については九鱗会との問題解決に向けて話し合いを模索している段階であるとの報告がなされた。林理事より、大分県支部に対して九鱗会との融合について返答を待っているところであると補足説明があった。中島会長は、14 年前の問題を再燃させるのではなく、双方が将来的にどのようなメリットが生まれるかを熟考していただきたいと意見を述べた。</p> <p>○山崎専務より、野瀬副会長が逝去されて四国地区の理事が不在のままになっていることから補充理事の選出が急務であるが、四国地区からは理事候補を選ぶに至っていないことが説明された。3 月の四国地区展は開催担当支部の藤本支部長が地区長代理として予定通り開催の運びであることが報告された。</p> <p>○活動推進委員会の発足を受け、錦鯉を通じて広く一般と交流を行い、会の社会事業として成果を挙げている活動について表彰を行うことが北川委員長より発表された。表彰対象については支部長会を通じて推薦を受け、以下の 2 活動を平成 29 年度の表彰とし、助成金を交付することが承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢神宮鯉池の清掃活動 ・千葉県米沢小学校のニシキゴイ・プロジェクト <p>○総務部長小西理事より、各支部の活動状況を調査した結果、活動盛況な支部がある一方で会員数をも把握できていない支部の実態が判明し、今後いかに支部を存続させるかが重要課題である事が報告された。</p> <p>○品評会担当平賀常務より、国際展に関連して下記の事項が報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 年間にわたって推奨された鯉のビニール袋が取次店により取扱い中止となったため、次回からは振興会品評会で使用されているビニール袋を推奨する。
--	--	---

	(3)国際部会の結果報告	<ul style="list-style-type: none"> ・第 54 回国際展の特別賞は「秋翠」 ・出品鯉のサイズオーバーの対処として、抜き打ち検寸や失格処置について大会要項に厳しく記載する。 ・国際展の人員確保には品評会事業部が協力し、担当地区以外の会員にも呼びかけを行う。 <p>○山田常務より、海外会員の審査員申請要件について確認が求められた。事務局長より、審査員申請の要件については国内と同様であり、入会後すぐであっても研修会の参加記録には残るが、海外会員は入会時において本人の職業・錦鯉飼育の有無・鯉池の所有等の情報がないこと、また研修者として品評会審査班に参加するに相応しいかどうかの確認のため、地方公認審査員申請以前に支部長からの推薦を受け氏名を登録する制度が設けられている事が説明された。</p> <p>○アジアカップについては全日鱗の審査員代表が審査員長を務めることが取り決められているため会長賞と副賞のチャンピオンピンを授与していること、アジアカップの審査歴については審査員申請時の審査回数とすることができることが確認された。(ただし、公認審査員申請のための地区展審査の代替とはしない。)</p> <p>○海外の公認審査員補が国際展の審査補助や国内地区展の審査員を希望する事例が増えており、希望者全員の受け入れが困難となっている問題について、必ず所属支部長を通じて本部へ申請し、国際部および公認審査員会等の調整により選抜するものとした。</p>
--	--------------	---

(2) 監 査

期日・場所	監 査 事 項	結 果
4/21 於：別 府	1. 平成 28 年度収支決算並びに業務全般について	<p>○収支決算書に加え、平成 25 年度決算より内閣府への提出が義務付けられている公益目的支出計画実施報告書の監査が実施された。</p> <p>○別府市の条例に基づく事務局建物外部看板の撤去、平成 28 年熊本地震による建物被害調査、消火器交換の必要性が指摘された。建物引当償金への繰入について説明が行われた。</p>

(3) 総 会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6/17 (第5回) 於：姫路市	1. 平成28年度事業報告に関する件 2. 平成28年度計算書類承認に関する件 3. 平成29年度事業計画及び予算に関する件 4. 役員を選任に関する件	○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○事業計画及び予算の内容が報告された。 ○役員候補選考委員会を代表して岸本史郎委員長より役員候補者が推薦され、候補者ごとに選任決議が行われ、下記のとおり役員が承認可決された。 理事： 平賀 富弥 (岩手県) 野地 英司 (福島県) 平田 潤一 (埼玉県) 鷹野 義男 (石川県) 元田 富男 (長野県) 北川 學 (三重県) 山崎 美左治 (滋賀県) 沢村 昌彦 (京都府) 田中 昭次 (大阪府) 中島 正章 (兵庫県) 上田 正裕 (兵庫県) 角南 修一 (岡山県) 小西 弦 (岡山県) 山田 幹洋 (山口県) 林 豊廣 (山口県) 玉木 一浩 (さぬき) 野瀬 康二 (高知県) 植木 幹彦 (長崎県) 監事： 白坂 大四郎 (奈良県) 三上 彌六 (山口県) 上記役員の任期は、承認可決より平成31年6月予定の定時総会までとなる。 *総会后、一般社団法人に関する法律に則り新理事を招集した理事会にて、上記の新役員により代表理事(会長)および業務執行理事の選定が行われた。
	5. オレンジブックの改訂に関する件	○原案のとおり承認可決された。

(4) 公認審査員会総会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6/17 (第5回) 於：姫路市	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度収支決算について 3. 平成29年度事業計画及び予算について	○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○事業計画及び予算書が報告された。

(5) 公認審査員審議会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5/13 於：名古屋	1. 審査員の登録取消について 2. 審査員の資格認定について 3. 名誉公認審査員の推薦について	○登録抹消 ・名誉公認審査員 なし ・公認審査員 11名 ・公認審査員補 なし ・地方公認審査員 1名 ○公認審査員の認定 4名 齊藤 昌治 (東京都) マク・ハーベイ (南アフリカ) テレンス・マクニール (AKA) カズヨ・マクナルド (KSA) ○地方公認審査員の認定 3名 木村 薫 (山口県) 恵古 宏治 (広島県) 森尻 孝雄 (栃木県) ○名誉公認審査員の推薦 なし
2/3 於：東京	1. 審査員の資格認定について 2. 名誉公認審査員の理事会への推薦について 3. 審査員の資格停止について	○公認審査員補の合格認定 8名 川上 俊雄 (千葉県) ウイワイ・サントソ (ジャカルタ) 洪 金文 (台湾楊梅) チュムボル・スリヤハイ (イースタイ) キティポン・アリサマット (タイ TKKG) ウオン・ヒー・ベン (マレーシア) ウィルヘルム・ゲルテンハイス (南アフリカ) 謝 家寶 (香港) ○地方公認審査員の認定 6名 本岡 秀昭 (兵庫県) 葉 佳換 (台湾楊梅) 藍 倉巨 (台湾楊梅) アサン・ブーンタニニッティファット (ブーケット) ティーン・ブリッツ (南アフリカ) ニコ・ベールニス (ベルギー) ○なし ○公認審査員の資格停止 梁 康民 (広東) 平成30～32年度の3年間の停止 ○公認審査員補の資格停止 トマス・リム (シンガポール) 平成30～32年度の3年間の停止

(6) 公認審査員会役員会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5/13 於：名古屋	1. 第5回公認審査員会総会の開催日程・場所について 2. 第5回公認審査員会総会への提出議案について	○原案のとおり日程・場所が承認された。

	(1)平成 28 度事業報告 (2)平成 28 年度収支決算 (3)平成 29 年度事業計画 及び収支予 算報告	○原案のとおり報告事項が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。 ○原案のとおり報告事項が承認された。
--	---	--

(7) 部 会

期日・場所	部 会 名	主 な 協 議 事 項
6.18 於：姫路市	総 務 部	・オレンジブックの改訂終了と総会承認について
	品評会事業部	・第 53 回国際錦鯉品評会について (出品料の値下げ、鯉ビニール袋の受注、一部表彰式の変更)
	国 際 部	・アジアカップについて ・海外品評会への審査員派遣について
	飼育魚病研究部	・飼育魚病研究会の開催計画 (2 月講演会の依頼について)
9/9 於：広島市	鑑賞審査部	・国際展審査要領の変更・確認 ・部員対象の実物審査研修会の実施
2/3 於：東京	総 務 部	・各支部の活動状況調査とその考察
	品評会事業部	・第 53 回国際展神戸大会の反省 (出品鯉のサイズオーバー、審査時間のオーバー等) ・第 54 回国際展大会について (新しい鯉ビニール袋の選定)
	広 報 出 版 部	・部会は招集せず、意見聴取を行った
	国 際 部	・海外会員との交流及び意見聴取 (アジアカップ、国際展補助員、審査員の申請)

(9) 委員会等

開 催 会 名	回 数	開 催 会 名	回 数
常務以上役員会	4 回	表彰審査委員会	1 回
役員候補選考委員会	1 回	地区長会	4 回

(10) 特別委員会

委 員 会 名	委 員	活 動 内 容
活動推進委員会	北川 學 (委員長) 長尾 昭一 玉木 成美	社会事業活動の調査・支部長会と連動し活動推進委員会表彰の選定
九州地区再生委員会	林 豊廣 (委員長) 植木 幹彦 皆川 芳信	九州地区支部会員への意見聴取等